

アライグマをやっつける!!

～あなたは今日からアライグマハンター～

近年増え続けているアライグマ。農作物から、野鳥の卵まで食べつくしてしまう厄介者。

アライグマの生態から、生息場所、捕獲のコツをまとめてみました。

これ以外にも情報はたくさんあると思います。みんなで情報を共有し、完全駆除へ向けて頑張りましょう!

どんな情報でも構いません! 何かあれば教えてください!

なお、アライグマの捕獲には、免許や許可が必要になります。詳しくは、地域の市町村役場にお問合せください。

・噛み付く(人間の指を噛み千切るほど)

・オリを壊すほど力がある

・取っ手を内側から取る力がある

・狂犬病に感染する(日本では50年以上発症例はありませんが、犬と同じで、狂犬病に感染します)

・大きくなると10kgくらいになる(オリにいっぱいになるほど大きくなります)

・雑食(木の実、残飯、野菜、果物、ネズミ、タマゴ、その他何でも食べます)

・手が器用(スイカは穴を開けて中身だけ、トウモロコシは皮を剥いて食べます)

・木に登ります(木登りは得意です。タヌキ、キツネは木に登りません)

・トウモロコシをむいて食べる(アライグマは皮を剥いて、タヌキやキツネはかじるだけ)

・周りを掘る程度で、穴は掘らない(地面に穴を掘って侵入する事はほとんどありません)

・樹洞やキツネの放棄した寝ぐら、木の根の穴、牧草ロールのすき間、廃屋などに住み着く

・防風ネット、トタン板、垂直の壁でも軽々と登ります(物理柵だけで侵入を防ぐのは困難)

・「猫や犬が居るから出ない」というのは間違い(子猫などを食べる場合もあります)

・ネットに爪で穴を開けると、その後毎日自分で広げていく(ちょっとずつ広げていって...)

・1晩の行動範囲は寝ぐらから約1~5km(目撃情報があれば、必ず周辺にも出没しています)

・冬(1月~2月)の発情時期にワナをかけてエサを置いても見向きもしない

・妊娠期間は約2ヶ月

・交尾時期は1月~2月

・4月~6月に繁殖(春が出産ラッシュ)

・1頭につき3~5頭出産

・春の子供が死んだ場合や、条件が良い場合(エサが豊富)秋にも出産する場合がある

・出産後は母子で居る確率が高い

・子供は、暖かくなってくる7月頃から出歩きは始める(春は巣穴から出ない事が多い)

・子離れは10月前後、その後周辺へ広がっていく(秋までに捕まえる事が重要)

・一夫多妻

・アライグマ回虫がいる(脳炎を引き起こす)

・臆病

・個体差はありますが、タヌキに比べて意外と大人しい

・寒くなる時期(9月以降)には姿を現さなくなる

・冬眠しない

・犬は苦手だが、係留されているとすぐ慣れる

・ビニールハウスのヒモなど、何でも噛み切ります

・メスは出生地から移動せずに、親族同士で暮らす

・場所から場所への移動時期は秋。時に子供は春か秋に移動すると言われている

・冬の行動範囲は約1km²。特にメスはほとんど動かないで、オスがメスの所を回っている

・平均寿命は約1~2年。野生では1歳前の死亡率が高い

・寝ぐらは、交尾、繁殖、子育て初期のメスを除き、転々としします

・電気柵は非常に効果的。3段張りではほぼ100%の防止効果。30年前の電気柵を使用している人も

・オスの交尾可能年齢は1歳以上

・【未確認】1頭で1晩で食べるトウキビは10本程度。メロンならは1~2個

・【未確認】アライグマ、キツネ、タヌキの間で、縄張りがある可能性

・【未確認】動物避けの薬や臭いは短期間の効果はあっても、長期的な効果は薄い

・【未確認】雨降りでも、出歩く。大雨の時は捕獲効率は下がる

アライグマの生態

- ・必ず出る場所にかけないとかからない(好んで出る場所は決まっています)
- ・沢、防風林、くぼんでいる場所など身を隠せる場所に生息
- ・樹洞やキツネの放棄した寝ぐら、木の根の穴、牧草ロールのすき間、廃屋などに住み着く
- ・川など、水がある場所に生息(水際が一番出やすいですが、その場所意外にも生息しています)
- ・沢山捕獲した場所は、毎年侵入する可能性が高い

よく出る場所

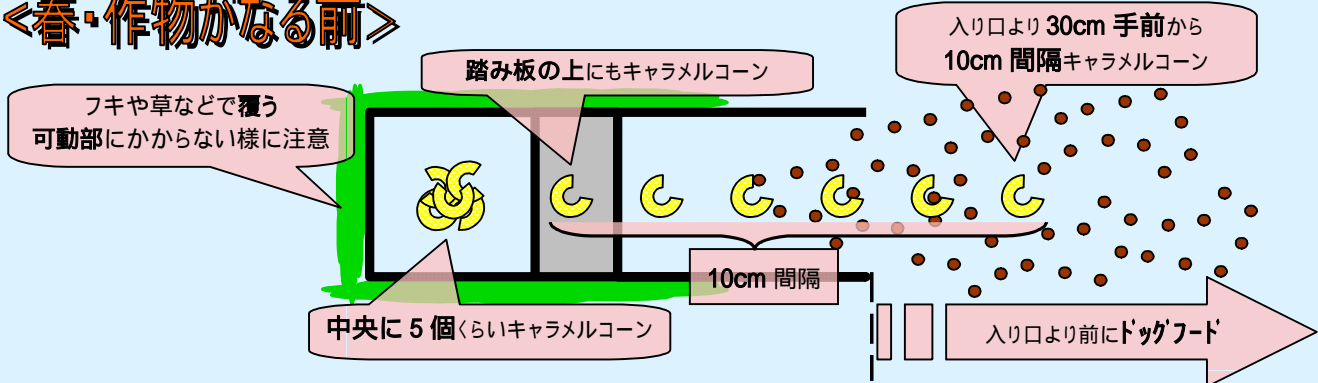
- ・必ず獣道があるので、しゃがんでアライグマの目線で確認してください
- ・平地でも、低みの場所を通りやすいので、周囲を良く見る
- ・納屋や廃屋に生息している場合、溜め糞をしている場所があります
- ・キツネやタヌキもトウキビを食べます(皮を剥いていなければ、キツネ、タヌキの可能性)
- ・オリの後ろを壊す力がありますので、必ず結束バンドや針金で補強すること
- ・オリについている獣のニオイは関係ない(臭いがついていようが、関係ありません)
- ・キャラメルコーンとドッグフードを用意しましょう
- ・肉系や魚系のエサは違う生き物が捕まりますのでやめましょう
- ・全体を洗車用ブラシなどで水洗いしましょう

オリをかける前に

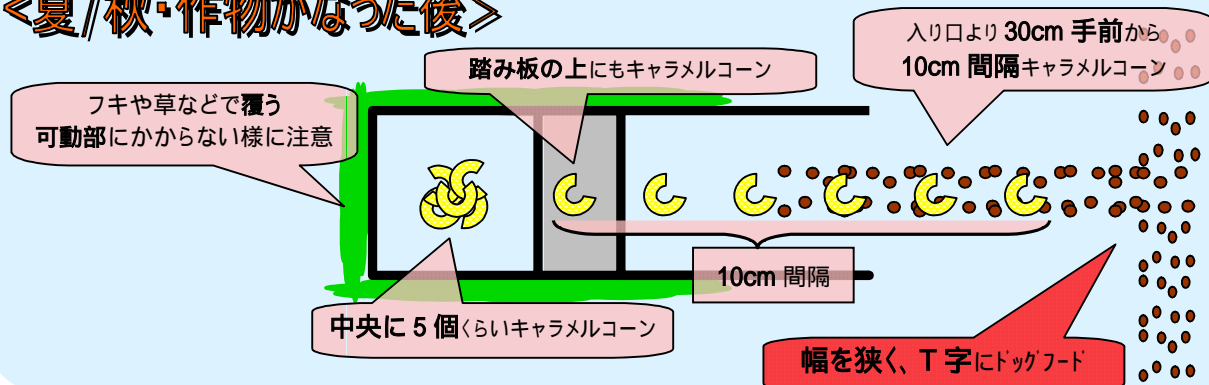
- ・エサはキャラメルコーンとドッグフードのみ
(揚げパンを食わせエサに使うとかもあるが、上記二つで十分)
- ・キャラメルコーン以外ではカリントウがいい
- ・甘いニオイと油のニオイが大好き(ハチミツ、ピーナツクリームも好き)
- ・猫が捕まるようなら、リンゴなどの果物を使うといい
- ・ワナの入り口より前2~3m範囲にドッグフードを2握りほどパラパラ撒く(オリの中にも少し撒く)
- ・キャラメルコーンは入り口より30cm外に、10cm間隔で1つずつ置く
- ・踏み板の上にも置いたほうがいい
- ・踏み板より奥の真ん中に、5個くらいキャラメルコーンを置く
- ・周りをフキや草で覆う
- 【NEW!!】・時期によって、エサの置き方を変える

オリをかけよう!

<春・作物がなる前>



<夏/秋・作物がなった後>



- ・2週間は毎日見回り、毎日エサ補給すること（最初の2週間が勝負です）
- ・一度オリで怖い思いをすると、警戒してかからなくなる（突然扉が閉まったり、ビックリした場合、オリに近づきません）
- ・踏み板を踏まないでエサを獲るアライグマもいる（手を伸ばして取って行く奴も）
- ・エサだけ無くなるのはネズミが食べている（エサがある場所を学習します）
- ・ネズミにエサを食べられる様になったら、中央のキャラメルコーンの代わりにトウモロコシを入れると捕まりやすい（トウモロコシにハチミツや、使い古した揚げ物油などをかけるといい）
- ・それでもトウモロコシだけ食べられるなら、トウモロコシに針金を巻きつけ、オリに縛り付ける
- ・ネズミにエサを食べられる様になったら、ドッグフードだけを中に入れておく
- ・タッパに穴を開けて、キャラメルコーンを入れてセットしても、ネズミに食べられる（お手上げです）
- ・1ヶ所につき5～6頭捕獲すると、その場所では捕まらない（1家族5～6頭居ます）
- ・捕まらなくなったら、違う場所に移動しましょう
- ・アライグマをある程度獲ると、タヌキがかかるようになる（タヌキばかりです）
- ・キツネはオリに入らない（たまに入る時がある）
- ・寄生虫がついています。必ず、ゴム手袋など履き手洗いしましょう
- ・咬まれたり、引っ掻かれたりしたら、すぐに病院に行きましょう
- ・捕まって、運ぶ時は袋やシートを被せるといい
- ・処分は、安楽死で
- ・衛生上や、オリを長持ちさせるため、汚れたらその都度水で洗いましょう

オリをかけたなら

～二つのお願い～

この情報をできるだけ多くの機関、多くの人に教えてあげてください。

コピーしてそのまま渡してもOKです。

その際、僕のブログ名「道産子ハンター」とブログ「狩りに行こう！！」を教えてください。

どんな小さな事でも構いません。何かあれば教えてください。その情報を元に、調査研究し公開します。

H20.9.1 作成
 H20.9.4 情報追加
 H20.9.5 情報追加
 H20.9.9 情報追加
 H20.10.7 情報追加
 H20.10.9 情報修正

H20.10.17 情報追加
 H20.12.24 情報追加
 H21.6.9 情報追加
 H21.8.4 情報追加

～H20.9.1作成～
 道産子ハンター

Google 検索
 「狩りに行こう」「道産子ハンター」